



表彰式後の記念撮影

前田道路は、同社を含む大阪・関西万博の「RITE未来の森」グループが、名古屋市の名古屋Iアリーナで開かれた「第1回EXPO INNOVATION AWARD」で「分野横断的啓発

## 前田道路に分野横断的啓発賞

### 脱炭素体感の取組み評価

賞」を受賞したと発表した。同アワードは、博覧会国際事務局と地球産業文化研究所が2005年愛・地球博から20周年を記念して創設したもので、今回の万博に合わせ初めて実施した。

同社、地球環境産業技術研究機

構（RITE）、名古屋大学、九州大学の4者は、大阪・関西万博会場内の「RITE未来の森」で、CO<sub>2</sub>直接回収（DAC）技術、CO<sub>2</sub>有効利用技術などの実証実験を実施するとともに、万博を訪

れる人たちに最先端技術が持つ可能性について、分かりやすく理解を促し、啓発にも取り組んでいることが評価された。

その中で前田道路は、DAC技術で回収したCO<sub>2</sub>を道路材料として有効活用する技術を展示して

いるほか、道路用材料として広く使われるコンクリート再生路盤材と市販のCO<sub>2</sub>ガスを使った実験を通じて、来場者に「CO<sub>2</sub>が道路の中に消える体験」をしてもらっている。カーボンニュートラルな世界の実現を身近に感じられるよう啓発したことが認められたという。

同アワードでは、万博の展示、イベント、マネジメントなどを対象に、最も優れた革新的なアイデアを考案、実現、成果を挙げた個人、企業、グループを表彰する。

「2027年セルビア認定博」「2030年リヤド登録博」でも、アワードを開催予定だ。

